

‘エコプラザ（仮称）’ 今後の方向性について ~「哲学から意見を出し合って、もう一度議論してもよいのではないか。」~

協議会提言 | 3つのテーマに基づくエコプラザ（仮称）の考え方の整理（案）

新施設 エコプラザ		整備の考え方		プログラム		建築・設備	運営
3つのテーマ	3つのテーマから求められる機能	エコプラザの哲学	対象者	プログラム		建築・設備	運営
低炭素社会モデル	<p>【エコプラザ】環境啓発の拠点（低炭素社会に向けた行動を促す場）</p> <p>・エコセンターに持ち込まれるごみを通じて、社会を見直し、地球を感じ、低炭素化に向けた行動を促す。</p> <p>・ここで行われること全てが環境啓発機能を有し、その全ての基となる素材は、エコセンターに持ち込まれたごみである。</p> <p>【地域力を結ぶ核】環境改善、社会の改善、経済の促進に地域力で取り組む場</p> <p>【景観形成への貢献】明るく開放的な施設づくり</p>	<p>【設置目的】</p> <p>ライフスタイルを変える ごみの減量 廃棄物は資源である ごみ減量化を促すことで CO2削減低炭素社会につなげていく ごみを減らすようなライフスタイルに変えていくきっかけ（気づき・学び）をつくる</p> <p>【環境啓発施設とは・・・】</p> <p>学びあう場・仕組みができることが重要。（共感性がなければ人間の行動が変わらない。根本的な問題に気づき、自ら学び自分のライフスタイルについて見直せるような場）</p> <p>今はごみ問題に全く興味がない人にも目を向けてもらえるようにする役割</p> <p>啓発というよりも、気づくこと、学び、コミュニケーションに重点を置くことが大事。</p> <p>低炭素社会の実現に向けた行動を促し（意識啓発・動機づけ・学び）、その行動を持続させるための取り組みを行う（行動を実現し持続できる場や機会の提供）</p>	<p>全市民</p> <p>↓</p> <p>子ども</p> <p>主婦</p> <p>学生</p> <p>ごみ問題に全く興味がない人</p> <p>企業</p> <p>行政</p> <p>来街者</p> <p>アーティスト・クリエイター</p> <p>様々な世代の参加が必要</p>	<p>【リサイクル機能】</p> <p>リサイクル施設として環境啓発を行うには、作業内容を見せたり、体験できたりするような工夫も必要</p> <p>リペア工房なども機能を固定化していくのではなく、みんなで議論したうえで時代に合わせて柔軟に活動内容を変えていけるような仕組み・運営が必要</p> <p>リサイクル工房ではリサイクルだけでなく、リユースの大切さを伝えることが重要</p> <p>今のシルバー人材センターでは、一般の市民は再生品を利用する側だ。市民が体験できることが必要（家具の修理などを教える人がいて、参加者自らも技術を学び、ものを作ることができる場所）</p> <p>CIBONE で見た作品のような、再生品に付加価値を提供する仕組み</p> <p>「リペアの鉄人」アーティストと素人がある期間、工房にこもって期間が終了して対決する。投票は子ども達がして、その模様をWEBにアップするなどのアイデアも面白い</p> <p>【かえっこ・他】</p> <p>素材とアートの結びつき、コラボレーションにより新たな価値を生み出すことができる</p> <p>かえっこやかえるキャラバンは海外でも展開（他にも波及する取り組み）</p> <p>廃棄物から新たな価値を生み出す企業が出てきている</p> <p>【学び・コミュニケーション・ネットワーク】</p> <p>他のリサイクル施設などとのネットワークを活かした運営</p> <p>リサイクル品を譲り受けたい人が値段をつけられるなどのプログラム</p> <p>広報誌に地域の出来事に関する記事を掲載（ものづくり学校）</p> <p>人を集める方法としてイベント実施が必要</p> <p>見学を体験型に。自分がごみになって処理される過程を体験する。ごみは臭いという強烈な体験になる</p> <p>カフェを作ったりして、ここへ来てもらうような仕組みが必要</p> <p>色々な問題について実行委員会などでお祭り化し、色々なパターンの人たちを集める。市内で活動している人々のネットワークの核になるものがないか</p> <p>【子ども・若者を対象に】</p> <p>子ども達を集めて科学実験をやって関心につなげていくような工夫、情報提供も必要</p> <p>小学4年生の社会科見学をきっかけに小中高大とつながっていくことが必要</p> <p>小学生以外への啓発も重要（中学生がHPを作ってアピールしていくなど。最近の小学校では図工の授業で環境デザインを学ぶ）</p> <p>子どもにアニメーション等の映像で工夫して、印象に残す</p> <p>子ども達には、映像をうまく利用したほうがよい</p> <p>大学のサテライトとして学生に部室を提供する</p>		<p>人を集めるという意味でハードとしての建築も重要。プログラムに合った建築を実現できれば</p> <p>プラットホーム等の特徴的な既存空間の活用</p> <p>プラットホームの空間の使い方については単なるリサイクルでなく「啓発」するという意味で考えていきたい</p> <p>リペア工房は、採光や換気等の設備が必要</p> <p>バリアフリー</p> <p>↓</p> <p>【空間イメージ(参考)】</p> <p>エコプラザ 1F (プラットホーム、玄関ホール、事務室)</p> <p>エコプラザ 2F (スペース×4)</p> <p>エコプラザ 3F (見学者ホール、オープンハウス、食堂)</p> <p>新管理棟 1F (リサイクル工房×2)</p> <p>新管理棟 2F (見学者ホール、コミュニティラウンジ)</p> <p>イベント広場+階段デッキ</p>	<p>地域の力、主婦の力、学生の力</p> <p>NPO(エコにこセンターなど)</p> <p>地元の学生の力(部室の提供)</p> <p>シルバー人材センターとの連携</p> <p>世田谷ものづくり学校、アーツ千代田のような運営形態から学ぶ</p> <p>緑町コミセンとの連携</p>
				地域力の向上	まちづくりとの連携		